

渡辺ハウジングOBの皆様と  
未来のお客様にお届けする

# やすらぎ通信

渡辺ハウジング  
03-3959-8743



新年のご挨拶を交わしたのは、  
つい先日のように思いますが、  
もう 2 月半ば。

暦の上では春を迎え、ほんのわ  
ずかにその気配が感じられる

ようになりました。

皆さん、お変わりなくお過ごしでしょうか？



寒さは峠を越したとはいえ、まだまだ春とは名ばかりで、暖かい日差しが恋しい今日この頃です。

この時期は、花粉が飛び始めたり、インフルエンザも猛威を振るっているようですので、特に受験生の皆さんは、体調管理をしっかりしてお元気で過ごしてくださいね！



希望校への合格を心よりお祈りしています。

暖かい春はすぐそこまで来ていますよ。

## 快適に生活するために！（2）

住宅は他の商品と異なり、四季の厳しい気象条件のもとで、長期にわたって使われるものですから、住まい方、手入れの仕方で寿命が長くも短くもなるものです。

また、住宅は主要構造材として木材、鉄、セメント・・・などが使われていますので、これらの性質をよく理解しそれに沿った手入れが必要です。

いつまでも快適に暮らすための参考となる、住まい方と手入れのポイントついてまとめてみました。

### 【サイディング外壁】

サイディングは、継ぎ目にシーリング材を充填し、すきまや目地をふさいでいます。

シーリングは特に劣化しやすいものなので、2～3年毎に点検して下さい。

金属製サイディングは、表面塗装が錆びたり、ひび割れたりする前に塗り替えを行って下さい。

### 【モルタル外壁】

モルタル塗りの外壁には、竣工したばかりの住宅でも細かい亀裂が入っていることがよくあります。

これは、モルタルが乾燥硬化する際、収縮するために生ずるもので、モルタルの性質上ある程度はやむを得ない現象です。

モルタルは、亀裂が下地まで通らないように施工していますので、細かい亀裂のみで住宅の品質や性質が損なわれるということは通常ありえません。が、亀裂も大きくなれば、雨水の浸入などにより下地が腐朽したり、モルタルが剥離したりするような危険がありますので日常の点検と補修が必要です。

### 【木造外壁】

外壁に木板を使用している場合は、時々点検して、割れたり、はずれたりしている部分があれば補修が必要です。また、塗装も3年に1度位は行うようにしたいものです。

次回に続く



### 「かまくら」

豪雪地帯で行われる「かまくら」は、雪を丸く固めて中をくり抜いた雪室（ゆきむろ）と呼ばれる小部屋のことです。東北地方で発達しましたが、中でも秋田県横田市のかまくらは、歴史のある伝統行事で、現在は月遅れの小正月となる2月15日と16日に行われています。夜になると、かまくらに灯明をともし、暗闇にほのかな明かりがいくつも並び幻想的な美しさを醸し出します。観光としてその美しい情景を楽しまれています。もともとは見るものではなく、中に入って、農耕に関わる水神様に家内安全・商売繁盛・五穀豊穡などを祈願するためのものです。

又、子供たちが積もった雪に穴をあけて、その中に入って



遊ぶ雪遊びがあり、これらが融合して、今のような「かまくら」となったようです。

## 子供の音がうるさい？



皆さんも以前、新聞やニュース番組で見聞きしたことがあると思いますが、「子供の音がうるさい！」という苦情が県などに寄せられているようですね。

最初にこのことを知った時、「子供の音 “って何?? と一瞬考えてしまいましたが、「子供が発する言葉?」「子供の笑い声や泣き声?」「子供が動き回る音?」・・・そんな感じなのでしょう。



具体的に言うと、

「保育園や幼稚園で遊ぶ子供たちの声がうるさい」

「小・中学校などでの野球のボールを打つ音がうるさい」

「部活での掛け声が耳障り」というものらしいのですが、こんなことが苦情になるのでしょうか？

なんとも寂しい時代になってしまいましたね。

皆さんはどう思われますか？

確かに子供がいない家庭、静かな環境を好む方々など多種多様な人がある限り、また現在の住宅事情などを考えると全てがうまくいき、何事もなく平穏に暮らせることは、はっきり言って無理なことですよ。

だからといって苦情を訴えることが本当にベストなのでしょうか。

私はそうとは思えません。

どうしてもひどすぎて、耐えがたいことであるならば、どこかに相談するのもひとつの手段だとは思いますが、その前にもっと相手を分かろうとしてみませんか。

もし保育園で友達と元気に遊ぶ子供たちの声がうるさい、耳障りで迷惑だ！と感じたら、自分の子供時代を思い出してください。

毎日たくさんの友達と元気に遊び、洋服が泥んこになり親に怒られても気にせず、そして時にはちょっと悪戯もしてみたり・・・そんな子供だったはず。

そんな元気のしるしが子供たちの声なのです。

たとえ喧嘩をした時があったとしても懐かしい思い出になっているではありませんか。



学校の勉強だけではなく、遊びの中からもいろいろなことを学び、そうして元気に育った子供たちが、今の大人たちなのです。

どこか具合が悪かったり、悩み事や心配事があったのでは大きな声も出せず、ただじっと静かにしていなければならないのですから、周囲の人はかえって心配です。

「まあ元気があって良いな」

「子供たちの元気な声を聞くと、こちらも元気になれるようで嬉しい」

「将来、この国をよい方向に導いてくれる頼もしい存在になってくれることを期待しよう」・・・など、

何事も、ものは考えようです。

人口統計の予想によれば、将来は高齢者ばかりの時代になってしまうことが懸念されています。

少子化を憂うばかりでは何の解決にもなりません。

まずは、子供も大人も余計な心配事を気にせず、幸せで安心して暮らせる環境を整えることも大事な問題だと思います。



誰にも優しい社会の実現を目指しましょう！

### 「編集後記」

1月は行く、2月は逃げる、3月は去る・・・の格言通りで、早くも2月中旬。更に今月は28日と他の月より短く、あっという間に逃げ・去ってしまいそう。

どうしましょう。

大事なことは忘れずに、きちんと終わらせなければいけませんね。

でも、春は木々が芽吹き、花が咲き、鳥が囀り、といろいろなことが始まるようで何だかウキウキしませんか？

やわらかな風に包まれ、幸せな時間が過ぎるといいですね。

今月も、やすらぎ通信をお読みいただき有難うございました。

ご意見・ご感想をお聞かせいただくと嬉しいです。

※「やすらぎ通信」をメールでご覧いただけます。

ご希望の方は、アドレスをお知らせください。



編集責任者

渡辺 田鶴子